

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東
 コード番号 7647 URL <https://ontsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,089	△56.8	229	82.4	218	102.5	155	5.0
2022年3月期第3四半期	7,148	△28.8	125	△48.1	108	△50.3	147	104.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 155百万円(5.0%) 2022年3月期第3四半期 147百万円(104.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	0.76	—
2022年3月期第3四半期	0.74	0.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,763	2,940	51.0
2022年3月期	5,983	2,869	47.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,940百万円 2022年3月期 2,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.12	—	0.12	0.24
2023年3月期	—	0.12	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.12	0.24

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,110	△49.4	270	68.1	260	91.6	165	59.9	0.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	203,142,645株	2022年3月期	203,142,645株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,410株	2022年3月期	2,410株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	203,140,235株	2022年3月期3Q	200,573,369株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は3,089,431千円（前年同四半期比56.8%減）、営業利益は229,300千円（同82.4%増）、経常利益は218,867千円（同102.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は155,125千円（同5.0%増）であります。

a. カラオケ関係事業

当セグメントでは、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸並びに卸売事業を行っております。顧客であるカラオケ関係事業者の多くは通常営業に戻っており、当セグメントの事業活動におきましても、顧客店舗のサポートや新規オープン予定店舗に対する営業活動も活発化してまいりました。

この様な状況により当セグメントの業績は、売上高は1,532,732千円（同17.1%増）、セグメント利益（営業利益）は191,377千円（同2.5%増）となりました。

b. スポーツ事業

当セグメントは、スポーツクラブ「JOYFIT」を2店舗、24時間型フィットネス・ジム「JOYFIT 24」を18店舗、フィットネス・ジム「FIT365」を7店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗、合計28店舗を運営しております。新型コロナウイルス感染拡大の波はあるものの会員数は着実に増加しており、当セグメントの業績は、売上高は1,246,554千円（同3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は95,583千円（同151.6%増）となりました。

c. IP事業

当セグメントは、店舗及び住宅の賃貸並びにコインパーキング「T.O.P. 24h」の運営をしております。コインパーキング事業におきましては、当第3四半期連結会計期間末日現在、大阪府、兵庫県、京都府におきまして55カ所714車室のコインパーキングを運営しております。

前事業年度に食料品・生活雑貨小売事業から撤退したことによる管理物件減少の影響があるものの、店舗及び住宅の賃貸並びにコインパーキングの運営はいずれも安定して推移しております。また、管理体制を見直すなどして経費の圧縮も実施した結果、当セグメントの業績は、売上高は310,144千円（同13.5%減）、セグメント利益（営業利益）は42,367千円（同45.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産

流動資産は、小幅な変動に止まり、2,246,921千円（前連結会計年度末比46,416千円の増加）となりました。

固定資産は、引き続き設備投資を抑制しているため3,514,190千円（同266,397千円の減少）となりました。

また、繰延資産は、2,016千円（同680千円の減少）となりました。

この結果、総資産は、5,763,128千円（同220,662千円の減少）となりました。

b. 負債

流動負債は、1,217,890千円（同518,142千円の減少）となりました。これは主として、金融機関からの借入資金の借り換えを実施したため1年内返済予定の長期借入金が481,393千円減少するなどしたことによります。

固定負債は、1,604,961千円（同226,591千円の増加）となりました。これは主として、金融機関からの借入資金の借り換えを実施したため長期借入金が425,502千円増加する一方、設備投資の抑制により長期割賦未払金が197,666千円減少するなどしたことによります。

この結果、総負債は2,822,852千円（同291,550千円の減少）となりました。

c. 純資産

純資産は、2,940,276千円（同70,888千円の増加）となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益として155,125千円増加、配当により48,752千円減少したことにより106,372千円増加した一方で、新株予約権が35,484千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、2022年5月13日付「2022年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」で公表した予想を修正し、2023年2月9日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。詳細は、当該資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,550,686	1,588,077
受取手形及び売掛金	394,353	458,921
商品及び製品	30,173	35,036
原材料及び貯蔵品	3,690	1,536
前払費用	171,210	135,263
預け金	219	265
その他	52,723	31,182
貸倒引当金	△2,551	△3,361
流動資産合計	2,200,505	2,246,921
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,303,923	1,293,857
建物及び構築物(純額)	864,205	805,229
土地	445,835	445,835
その他(純額)	357,241	263,004
有形固定資産合計	2,971,205	2,807,927
無形固定資産		
のれん	32,542	17,799
その他	10,752	10,068
無形固定資産合計	43,294	27,867
投資その他の資産		
投資有価証券	130,183	131,885
建設協力金	54,775	45,770
差入保証金	315,298	294,264
繰延税金資産	187,563	165,735
その他	92,164	53,621
貸倒引当金	△13,897	△12,881
投資その他の資産合計	766,087	678,395
固定資産合計	3,780,588	3,514,190
繰延資産	2,697	2,016
資産合計	5,983,791	5,763,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	82,648	121,226
1年内返済予定の長期借入金	1,038,656	557,263
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払金	45,904	62,654
1年内支払予定の長期割賦未払金	334,292	280,116
未払法人税等	40,340	15,765
資産除去債務	428	8,634
その他	153,763	132,231
流動負債合計	1,736,033	1,217,890
固定負債		
社債	100,000	80,000
長期借入金	566,904	992,406
長期割賦未払金	361,935	164,268
役員退職慰労引当金	123,122	132,265
退職給付に係る負債	64,944	68,217
資産除去債務	40,398	40,889
その他	121,064	126,915
固定負債合計	1,378,369	1,604,961
負債合計	3,114,402	2,822,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,725,920	1,725,920
資本剰余金	1,016,400	1,016,400
利益剰余金	91,669	198,041
自己株式	△87	△87
株主資本合計	2,833,904	2,940,276
新株予約権	35,484	-
純資産合計	2,869,388	2,940,276
負債純資産合計	5,983,791	5,763,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	7,148,672	3,089,431
売上原価	4,433,479	1,612,035
売上総利益	2,715,193	1,477,396
販売費及び一般管理費	2,589,504	1,248,096
営業利益	125,689	229,300
営業外収益		
受取利息	1,891	1,145
持分法による投資利益	1,889	1,701
受取保険金	555	1,234
受取奨励金	2,268	2,917
受取給付金	7,261	2,750
その他	3,398	2,554
営業外収益合計	17,263	12,302
営業外費用		
支払利息	23,503	12,150
社債発行費償却	687	572
支払保証料	237	96
その他	10,467	9,916
営業外費用合計	34,895	22,735
経常利益	108,057	218,867
特別利益		
固定資産売却益	111	-
新株予約権戻入益	1,128	35,484
資産除去債務戻入益	15,041	-
関係会社株式売却益	468,943	-
特別利益合計	485,224	35,484
特別損失		
固定資産除却損	198	337
減損損失	174,165	-
店舗閉鎖損失	98,519	21,678
新型コロナウイルス関連損失	9,717	-
棚卸資産処分損	59	-
特別損失合計	282,660	22,015
税金等調整前四半期純利益	310,621	232,335
法人税、住民税及び事業税	69,491	55,382
法人税等調整額	93,458	21,827
法人税等合計	162,950	77,210
四半期純利益	147,671	155,125
親会社株主に帰属する四半期純利益	147,671	155,125

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益	147,671	155,125
四半期包括利益	147,671	155,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,671	155,125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い

当社及びすべての国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ 関係事業	スポーツ事業	I P事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,279,249	1,309,416	1,201,545	179,674	6,969,886
その他の収益	—	—	—	178,786	178,786
外部顧客への売上高	4,279,249	1,309,416	1,201,545	358,461	7,148,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,269	121	—	105,496	110,887
計	4,284,519	1,309,537	1,201,545	463,957	7,259,559
セグメント利益又は損失(△)	△11,426	186,752	37,995	29,192	242,514

(注) 食料品・生活雑貨小売事業につきましては、2021年10月1日に、株式会社音通エフ・リテールと株式会社ニッパンの株式の全てを譲渡して撤退いたしました。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社音通エフ・リテールと株式会社ニッパンの株式を譲渡して連結の範囲から除外しております。

これにより、食料品・生活雑貨小売事業のセグメント資産が2,605,420千円減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	242,514
セグメント間取引消去	16,526
全社費用(注)	△133,351
四半期連結損益計算書の営業利益	125,689

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

スポーツ事業において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった固定資産について、当第3四半期連結会計期間において、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額174,165千円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	IP事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,532,732	1,246,554	191,120	2,970,407
その他の収益	—	—	119,024	119,024
外部顧客への売上高	1,532,732	1,246,554	310,144	3,089,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	133	—	103,788	103,922
計	1,532,866	1,246,554	413,933	3,193,353
セグメント利益	191,377	95,583	42,367	329,328

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	329,328
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△100,028
四半期連結損益計算書の営業利益	229,300

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において、連結子会社であった株式会社音通エフ・リテールと株式会社ニッパンの株式の全てを譲渡し、連結の範囲から除外したため、第1四半期連結会計期間より「食料品・生活雑貨小売事業」を報告セグメントから除外しております。